

みんなで作る むらのルール

自治基本条例

策定委員会 活発な意見交換で協議進行中!

昨年9月から自治基本条例策定に向けた協議を行なっています。

先月は、「村長と委員長」の対談を掲載しましたが、今回は、策定委員さんに自治基本条例にかける思いなどを語っていただきました。

これまでの協議内容については、村のホームページに掲載していますが、たたき台がまとまり次第、村民の皆さんに公表し意見をいただく予定です。

この条例にかける思い・盛り込みたいこと等!



松岡泰則さん

村民が共感できる ルールづくり!

すでに8回の策定委員会が開かれており、現段階までは誠に失礼な言い方ではありますが、毎回楽しく話し合いに参加させていただいております。

今後は、言いたい放題の事がらを条文としてまとめ上げることになると思いますが、この条例を真に生きたものにするには、『村民の皆さんに理解され“自分たちのルール”として共感を持って受け入れてもらえる』ものでなければなりません。

そのためには策定委員会が条例をつくるのではなく、村民の皆さんと一緒にまとめて上げていくものだと考えていますので、条文策定の過程でいかに多くの村民の皆さんに関わっていただけるかが大きな鍵になると考えています。

日吉津村のブランド化!

自治基本条例策定委員に選出され光栄であるとともに、責任の重さも感じております。

この条例を策定するにあたり大前提は何か。それは、施行の対象者、つまり村民がこの村に居続けることだと思います。

未来の村民を残していかなければなりません。私は現在の大人はもちろん将来の大人達が、この村に住んでいることを誇りに感じられるような、県内唯一の村、日吉津村のブランド化を織り込んだ条文をつくっていきたいと考えています。



田邊昌宏さん

子どもたちの願いを込めたい!

子どもたちに「どんな所に暮らしたい?」と聞いたら、「きれいな所」、「楽しい所」、「友達がたくさんいる所」など次々に答えが返ってきます。その思いは、大人も一緒だと思います。

日吉津村に暮らす私たちが、未来を担う子どもたちにどんな所に暮らして成長して欲しいか。そのためには、どんな日吉津村であって欲しいか。あらためて見つめ直し、子どもたちの願いが込められた自治基本条例が策定できればと思っています。



土井綾子さん

中学生にも分かる条例策定を!

毎回、3グループに分かれ様々な分野について議論が深められつつあります。私のグループでは、特に地域コミュニティや村民の関心、参画意識が重要だと話し合っています。

今後は、これらの提言を如何に条文に盛り込むか、また村民の意見をどうくみ上げ、周知・参画による総意を反映したものになるかが大きなテーマとなります。そして、アドバイザーの中川先生が言われるように、条例が村を再認識する機会になるよう、中学生にも分かる平易な文言で策定したいと思っています。



山路 薫さん